

令和7年度 絵画科日本画専攻 出題意図

1次 鉛筆素描

基礎的な観察力や描写力、構成力のレベルを判定するための出題である。台座の上に配置した1体の石膏像（パジャント）をモチーフとして、鉛筆素描する課題とした。モチーフの形を正確に捉え、適切に描写する力を評価する。また、形を空間的に認識し、構図や明暗の諧調といった表現に反映できているかといった点も評価の対象とした。

2次 着彩写生

観察力や描写力、構成力や色彩感覚などを含めた総合的な表現力のレベルを判定するための出題である。野菜や果物、器物等をモチーフとして、各自が自由に卓上で構成して着彩写生する課題とした。

それぞれのモチーフがもつ色や形、サイズ、質感等の特徴を活かして構成し、モチーフの実感や違いを描き分けて、絵画的に表現しようとする点を評価の基準とする。また、色数の多いモチーフを色味豊かにバランスよく表現しているかといった色彩感覚も評価の対象とした。